

ひまわ在宅サポートグループ

高野香（ 介護福祉士 / デイサービス / 主任 ）

- 功 績** 宗教上の理由で自然治癒を優先し、皮膚状態が悪化したご利用者の主訴に時間をかけて、丁寧にお伺いし宗教上の信念を尊重しながら、コミュニケーションへ重点を置き皮膚ケアに必要なケアを提案し実践した。その結果、利用者さんの皮膚状態が改善し、健康な日常生活が取り戻せた功績
- 推 薦 者** 阿部 朗 （ 所長 / デイサービス ）
- 推 薦 理 由** ご利用者の信念を尊重しつつも、皮膚ケアの重要性を伝えるうえで示唆に富んだものであり、高野香のアプローチがご利用者の健康改善に果たす役割の功績を称え理事長賞に推薦致します

内 容

宗教上の理由から薬類を使用しない強い信念を持つ利用者さんがおりました。

皮膚状態が悪く、衣類の着脱時には全身の皮膚が衣類に張り付き、着脱時は細心の注意を払い、ゆっくり時間をかけて行っていました。皮膚トラブルに悩まされており、その症状は日に日に悪化していました。

初めは入浴時の石鹸使用や軟膏塗付を受け入れることも拒み、自らの信念を貫いていましたが、その状態は日常生活に大きな困難をもたらしていました。

入所施設でも、同様に薬類の拒否・昼食も拒否するなどこだわりが強く、日中もベットで横になっている状態でした

高野は利用者さんの強いこだわりを理解し、生活習慣やストレス管理のサポートも行い、受け入れられるアプローチを模索しました。

特にご本人の訴えやコミュニケーションに重点を置きながら、心理的な支援を中心にサポートを提供しました。ご本人の話を多く聞くことに重点を置き、ご本人のこだわりの経緯や今までの生活歴など時間をかけて話を聞きました

時間が経つにつれ高野とのコミュニケーションも増えていき、利用者さんの表情にも変化が見られるようになりました。

初めは介助を受け入れることに躊躇していましたが、信頼関係が出来始めると、利用当初は拒否が多かったのですが、日中活動にも徐々に参加し昼食も摂取するようになりました。

ご本人へ皮膚状態を小まめに伝える事でワセリン等の使用も認めてくださり、皮膚の状態は目に見えて改善され、日常生活をより快適に送ることができるようになりました。宗教上の信念を守りながらも、皮膚の健康を取り戻すための効果的な方法を見つけることができたことは、私たちにとっても大きな喜びでした

当初週1回の利用でしたが、ご本人の希望により週3回の利用となりました。

利用者さんの信念を尊重しながらも、適切なサポートとアプローチによって、気持ちを大きく変化させ、皮膚トラブルを克服する事ができました。